

磐城時報

石城郡磐城町十四番地
編輯兼發行人 岡田弘成
印刷所 加納活版所
電話 二五〇
廣告部 石城郡平野町十五番地
電話 一四七
代售所 各郵便局
訂費 一月一元二角 三月三元五角 半年六元 一年十二元
零售 每份一角五分
印刷 每日(日曜、祭日) 休刊

役場小使をたまして

印鑑證明書を偽造

實父の土地を抵當に入れ
遊興に費消す

國縣道測量

石城郡内の
五十軒毎に標識
平土木監督所では道路國策樹立の一環として十七日から二十三日まで管内國縣道延長七十里の距離基本實地測量を行つてゐる。父の田六反歩を抵當に入れ平町材木町高田衛氏から八百五十圓外一名から百二十圓を借りた事發覺平署で取調べ中である。尙ほ泉一は全部を平町花柳界で費消したものである。

匡救事業費

起債認可申請

平町では八年度匡救事業二千四百進捗し東防波堤延長二百五十百圓の起債認可を十七日縣内務部長宛に申請した。

思ひかけぬ慈雨で 石城農民歡喜す

一坪の雨量一石一斗
水不足緩和さる

旱天、水不足で悩まされてゐたが、神谷村農事試験分場の調石城地方に十五日夜から十六日昼による一坪の降雨量は一石一斗七合一勺で、植付け不能に

雨量のわりにきつめがある。それに雨量も多かったためで水不足も余程緩和された。

秋田鑛専學校生徒が 短刀で酌婦を脅迫

第三小學校
増築委員會

内郷村鑛専學校炭礦宿所秋田鑛に於ける野馬追祭は月十一日は二千八百一人、十二日は四千五百四十二人、十三日は五千九百七十七人、合計八千四百六十九人、乗降人員は左の通り、昨年より七千三百人の増加である。乗車人員七月十一日は九百四十八人、十二日は六千七百七十三人、十三日は六千九百九十九人、合計九千五百六十六人、降車人員七

雨量に於ける野馬追祭は月十一日は二千八百一人、十二日は四千五百四十二人、十三日は五千九百七十七人、合計八千四百六十九人、乗降人員は左の通り、昨年より七千三百人の増加である。乗車人員七月十一日は九百四十八人、十二日は六千七百七十三人、十三日は六千九百九十九人、合計九千五百六十六人、降車人員七

高平、大野、太田、石神一町四ヶ村の後援にて七月廿五、廿六の兩日原町前生産米共同受檢場に俵小麥品評會を開催するので各町村會に於て出品勸誘中。

小濱漁港

浚渫に着手
植田町小濱港留置工事は工費三萬圓で昨年着工防波堤五十米の延長工事を行つてゐたが此程完成したので二十日頃から小名濱港修築事務所より借受けた起重機浚渫船を使用し港内浚渫作業に着手する工費は四萬圓で年内には竣工の豫定である。

出荷八千俵

石城郡穀物共同販賣聯合會の菜種、小麥の共同販賣は既報の如く二十五日平町農業倉庫で執行するが、小麥の出荷は八千二百俵の見込である。

北海道上

野崎滿藏
札幌に於ける道廳保安課の警部が連日各名所を案内せられ昨日旭川に着。此所にも警部及役員の内にて第七師團及アイヌ部落等を視察しアイヌ會長と記念撮影を爲し夜分は三日月樓に於て歓迎慰勞會に招かれ平町の菓子舖に居りし美人と會合せしも奇縁にて有之候、本日は登別温泉一泊。

炭礦小唄

入選發表表
回業磐城新聞社募集に係る炭礦小唄は十六日審査の結果左の如く入選者を決定した。

平町の各銀行で けふから預金引下げ

縣下銀行同盟會では全國銀行の營業所の野球試合は十五日午後大勢に順應し預金利率を引下げ四時から第三小學校庭で行つた事をとり去る十二日臨時總會が十二日一で土木監督所大勝し八番地重満四男鈴木敬四郎(六)さんは十七日疫病と決定した。

野馬追祭日の 原町驛乗降人員

相馬郡原町に於ける野馬追祭は月十一日は二千八百一人、十二日は四千五百四十二人、十三日は五千九百七十七人、合計八千四百六十九人、乗降人員は左の通り、昨年より七千三百人の増加である。乗車人員七月十一日は九百四十八人、十二日は六千七百七十三人、十三日は六千九百九十九人、合計九千五百六十六人、降車人員七

中村町戸數割

相馬郡中村町昭和八年度賦課戸數割は總額金四萬六千八百六十四圓で賦課戸數は二千三百五十七戸、最高金一千五百四十七圓六十四錢で、最低五十三圓である。平均は金二千四百六十四圓三厘で前年度より金六錢七厘の減額である。

四倉角網

五萬圓漁獲
四倉新町坂本嘉兵衛氏經營に依る角網は四月二十日投網以來好成績で六月末までの漁獲高は五萬五千四百四十九圓二十六錢に達した。

土木監督所勝つ

土木監督所對東部電力會社平

相馬支局通信

相馬の盆踊り

炭礦小唄

